

看護部案内

KURUME UNIVERSITY HOSPITAL &
KURUME UNIVERSITY MEDICAL CENTER
NURSE RECRUIT GUIDE

あなたの手が、
未来を変える



〒830-0011 福岡県久留米市旭町67
TEL 0942-35-3311 FAX 0942-32-6278
<https://www.hosp.kurume-u.ac.jp>



■ 交通機関
西鉄バス系統 8 (大学病院、高専方面行にて大学病院または医学部前下車)
<所要時間> JR 久留米駅から約 7 分、西鉄久留米駅から約 17 分



〒839-0863 福岡県久留米市国分町155-1
TEL 0942-22-6111 FAX 0942-22-6533
<http://iryo.kurume-u.ac.jp>



■ 交通機関
西鉄バス系統番号 3 (信愛女学院・青峰団地行にて大学医療センター下車)
堀川バス (大学医療センター・八女行にて大学医療センター下車)
<所要時間> JR 久留米駅から約 30 分、西鉄久留米駅から約 15 分

職 員 採 用 情 報

久留米大学 総務部人事課

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67
TEL 0942-31-7517 (直通) FAX 0942-31-7919
e-mail : jinji@kurume-u.ac.jp

久留米大学病院看護部ホームページ
<https://www.hosp.kurume-u.ac.jp/nurse/>



伝統を尊重しながら、
新たな成長への挑戦

久留米大学病院の理念

人と地球にやさしい、 いのち 生命を慈しむ医療

看護部の理念

私たちは、患者の人権と意思を尊重し、
安全で思いやりのある看護を提供します。

方針

1. 安全で質の高い看護の提供
2. 豊かな人間性のある看護の提供
3. 地域と連携した看護の提供
4. チーム医療の推進
5. 専門職業人としての自己研鑽

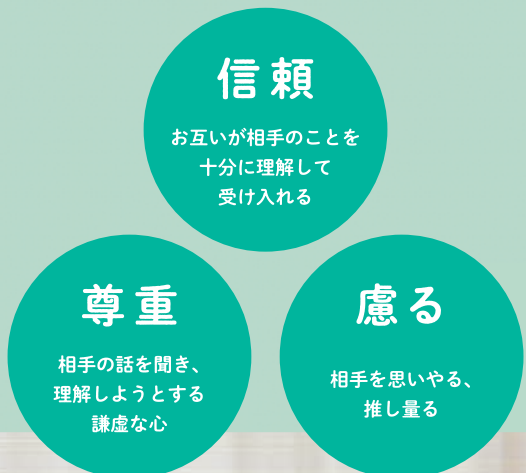


PNSによる支援体制

久留米大学病院ではPNS（パートナーシップ・ナーシングシステム）を導入しています。2人の看護師が安全で質の高い看護を提供することを目的に、お互いのパートナーとして対等な立場で協力し合いながら、成果と責任を共有します。また、その2人を見守るクリニカルコーチが俯瞰的な立場からキャリア支援を含めたサポートを行うことにより、看護の質を維持・管理しています。



《 パートナーシップに必要な3要素 》



お互いを高める“パートナー”とそれを見守る“コーチ”が質の高い看護を実現しています

クリニカルコーチ

高尾 聡昭

クリニカルコーチは自部署スタッフに対し看護師としてのキャリアを支援していく役割を担っています。その中で新人看護師に対しては、1年間を通して様々な看護技術やストレスマネジメントなどを集合教育とOJTを行い、働きやすく学びやすい環境を整えています。また、配属後はフレッシュパートナーと共に新人看護師の技術習得状況を確認しながら、サポートを行っています。忙しいこともありますが、新人看護師の成長が素直に嬉しく、やりがいとなっています。

新人看護師

近藤 綾美

新人看護師はフレッシュパートナーとクリニカルコーチの先輩看護師からサポートを受けます。フレッシュパートナーの先輩には、日々の業務や技術の指導を通して、分からないことがあれば気軽に質問ができます。そのため、不安を持ったままではなく自信を持って日々の業務を行うが出来ます。また、仕事に関することだけではなく、色々な会話ができるので、精神的な支えにもなっています。他の先輩看護師とペアになることもあり、様々な視点で指導を受けることが出来ます。

フレッシュパートナー

野中 瑳絵

フレッシュパートナーは新人看護師と1年間パートナーとなって、知識や技術の習得を支援するだけでなく、精神的にもサポートをします。私が新人看護師だった頃、パートナーの先輩看護師から親身なサポートを受けたことで、安心して業務を行うことができました。また、そのおかげで多くのことを学び、成長することができました。今度は、自分が受けた支援と同じように、新人看護師たちに寄り添ったサポートができるよう、日々精進していきたいと思っています。

キャリア開発プログラム Azalea

久留米大学病院看護部のキャリア開発プログラムが目指すのは、「多様性」「継続性」です。看護師一人ひとりのキャリアアップを支えるため、クリニカルラダーをもとにレベル別研修を計画しています。プログラムの名称にある『Azalea（ツツジ）』は約250種類ほどの品種があり、その多様性が見る人の心を惹きつけます。看護師一人ひとりがAzaleaのように彩り豊かに花を咲かせることを願っています。



【Azalea（ツツジ）】
Azalea（ツツジ）の語源は「続き咲き木（ツツキサキギ）」といわれており、花が次々に咲くことに由来しています。



新人看護師の1年間の研修

新人看護師は1年をかけて計画的な研修を中心に、知識・技術をステップアップしていくサポートを受けます。また、全職員が新人看護師を暖かく見守り、安心して日々の業務を行える環境を整えています。



先輩からのアドバイス

「私たちに信じて頼ってください」

岩田 奈々

私たち教育担当は新人看護師の皆さんの味方です。最初は何もかもが分からない状況で、不安が多いと思いますが、自分で解決しようとせず何でも聞いてください。一緒に悩み、一緒に解決策を考えましょう。私たちはいつも温かい気持ちで待っています。



2年目に向かう準備！

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

基本的なルールを学ぶ

新人看護師オリエンテーション

新人教育担当者や認定看護師等から知識や看護技術を学びます



血糖測定／感染対策
採血・静脈注射・輸液ポンプの取り扱い
フィジカルアセスメント／災害対策
多職種連携／食事介助／吸引



認知症ケア研修

暴露防止



急変時対応



逝去時看護

退院支援



1年を振り返って

新人看護師研修修了式

看護部長より、新人看護師研修の修了証をいただきます。1年を振り返り、2年目の目標を話し合います。



1日のタイムスケジュール



日勤

8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00

休憩

検温

業務開始



朝礼・夜勤者からの引き継ぎ、担当患者さんの情報を収集し、1日のスケジュールを立てます。

巡回



ベアで担当患者さんへ挨拶し、検温・観察・環境整備・配薬・点滴投与等をおこないます。

カンファレンス



医師・栄養士・薬剤師などの多職種で、入院中から退院後を見据えた看護計画を検討します。

看護ケア・看護記録



清潔ケア、療養指導を行い実践内容や患者さんの反応を記録に残します。



長日勤

17:00 18:00 19:00

検温

引き継ぎ



長日勤者から夜勤者への引き継ぎ、夜勤者同士の情報共有をおこないます。



夜勤

20:00 24:00 6:00 7:00 8:00

検温

巡回



1～2時間毎に巡回し、異常の早期発見に努めます。緊急入院の対応も行います。

休憩



交代で仮眠や休憩をとります。いったん緊張をほぐしリラックスすることで後半に備えます。

巡回

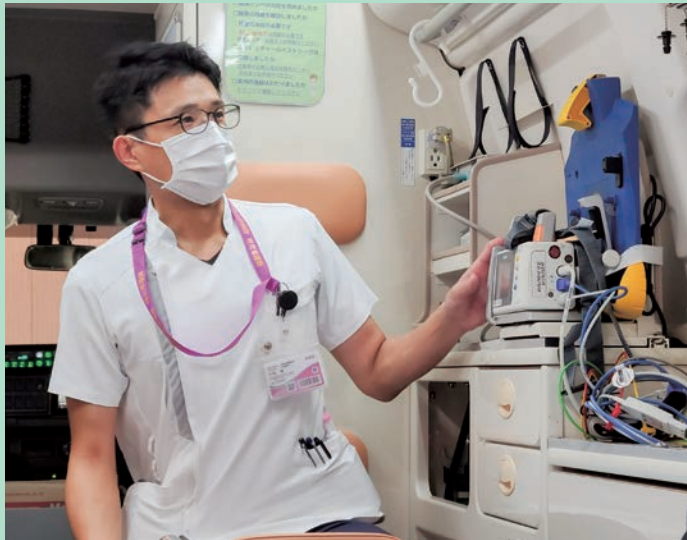


夜間の患者さんの状態の記録や朝の検温・採血・配薬を行います。

引き継ぎ

スペシャリストとして活躍する先輩看護師

特定の看護分野において、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践し、現場における看護ケアと質の向上を図るスペシャリスト。
久留米大学病院には認定看護師をはじめとしたスペシャリストが多数在籍しています。
安心・安全で誠実な看護を実践できる能力はもちろん、専門性を発揮し、チーム医療の中心的存在として患者さんやご家族のために活躍の場を広げています。



クリティカルケア認定看護師（特定看護師）

杉島 寛

多職種と連携する場面では
キーマンとして役割を発揮しています

最近是在宅医療が推進され、訪問看護ステーションも増えて
います。しかし、それを実現するためには、当院のような急性
性期病院はとても重要な位置づけにあります。集中治療室
という超急性期の場面から、合併症をおこさず、残存機能を
維持し、病棟へとつなぎ、地域へとつなぐ必要があるからで
す。それらを実現するためにも、看護師の活躍の幅が増えて
います。急性期の場面では、人工呼吸器の調整など特定行為
を実践し、リアルタイムな患者さんへの介入を行っています。
また、多職種と連携する場面も多く、その中でもキーマ
ンとして役割を発揮しています。ぜひ一緒に働いて、患者さ
んを地域へとつないでいきましょう！

スペシャリストの休日&アドバイス

仕事とプライベートのオンとオフの切り替えは
大事です。比較的休みもしっかりと取れますの
で、プライベートも充実させながら、看護師と
してどのようになっていきたいかを想像なが
ら模索していきましょう！



院内認定IVナースインストラクター

谷本 美怜

病棟スタッフの技術向上に向けた育成に
日々取り組んでいます

消化器外科や新生児病棟での経験を経て、2人目の育児休暇
後からは心臓血管外科と呼吸器外科の病棟に勤務していま
す。仕事と育児を両立することは大変なことも多いですが、
休日を利用してリフレッシュし、ワークライフバランスを充
実させています。そのような環境で、2年前に院内認定IVナ
ースインストラクターの資格を取得し、静脈注射に関するス
キルアップを図りました。現在は、病棟スタッフの静脈注射技
術向上に力を入れ、指導やトレーニングに取り組んでおり、
スタッフ全体の技術向上と患者さんへのケアの質の向上を
目指しています。さらに、研修にも積極的に参加し、自身の
専門知識を深めています。

スペシャリストの休日&アドバイス

日頃は子供達とゆっくり遊ぶ時間が取れないた
め、そのぶん休日は子供達の要望を聞いて遊び
に出かけています。連休があれば時々キャンプ
にも出かけて自然を満喫するなど、休日にもアク
ティブに過ごしています。



フライトナース

吉田 友香

患者さんの最良の予後に貢献できるよう
緊迫感のある現場で頑張っています

婦人科病棟での経験を経て、現在は救命センターでフライト
ナースとして勤務しています。ドクターヘリ出動時には、処置介
助、患者さんやご家族への身体的・精神的援助、物品管理、コ
ミュニケーション、安全管理など、多岐にわたる役割を担って
います。また、限られた時間とマンパワー、資機材の中でフラ
イトドクターと共に戦略を立て、スムーズかつ現場で最大限の
活動が行えるよう準備しています。現場は常に緊迫感があり、
責任も重いですが、患者さんの救命や最良の予後、社会復帰に
貢献したいという強い思いで日々取り組んでいます。さらに、定
期的なトレーニングやシミュレーションを通じて、自身のスキル
アップにも努めています。

スペシャリストの休日&アドバイス

仕事のON/OFFをしっかりと切り替えることは大
事です。心身のリフレッシュ、集中力や生産性
の向上に繋がりますし、バランスの取れた生活
とメンタルヘルスの維持にも役立ちます。趣味
や自己成長の時間も大切にしてください。



小児看護専門看護師

野間口 有加

小児の仕事をずっと続けたい思いから
専門看護師の道に進みました

小児看護専門看護師は、あらゆる健康レベルにある子どもとそ
のご家族に対して、最善の利益が守られるように、子どもやご
家族の力を引き出しながら、成長・発達を見据えた看護を提供
します。私は、小児科の看護師として8年経過した頃、もっと子
どもたちやご家族のために何かできることはないかと考えるよう
になりました。そして、小児に携わる仕事をずっと続けたい、ス
ペシャリストを目指したいと思い専門看護師の道に進みました。
現在は、温かいスタッフのみなさんに支えられながら、子育てと
両立し、新生児病棟で働いています。元気に成長していく赤ちゃん
やご家族の笑顔に触れ、やりがいを感じながら毎日楽しく働
いています。

スペシャリストの休日&アドバイス

休日は子どもたちと遊んだり、大好きな韓国ド
ラマを見て過ごすことで、仕事へのモチベー
ションを上げています。癒されることや好きな
ことの時間を大切にしてください。そうすると
新鮮な気持ちで仕事をスタートできます。





“つなぐ”医療の充実へ

久留米大学医療センターの看護部では、大学病院という使命を持ち、ベテランから新人一人ひとりが患者さんに提供できる「only oneの優れた技」の習得を目指しています。また、「ホスピタリティ5Hマナー」でおもてなしの心を伝え、患者さん、家族を支える地域との橋渡しとなるように、“つなぐ”医療の充実に努めています。

ホスピタリティ 5Hマナー

Hospitality Five“H” Manners



リソースナース会



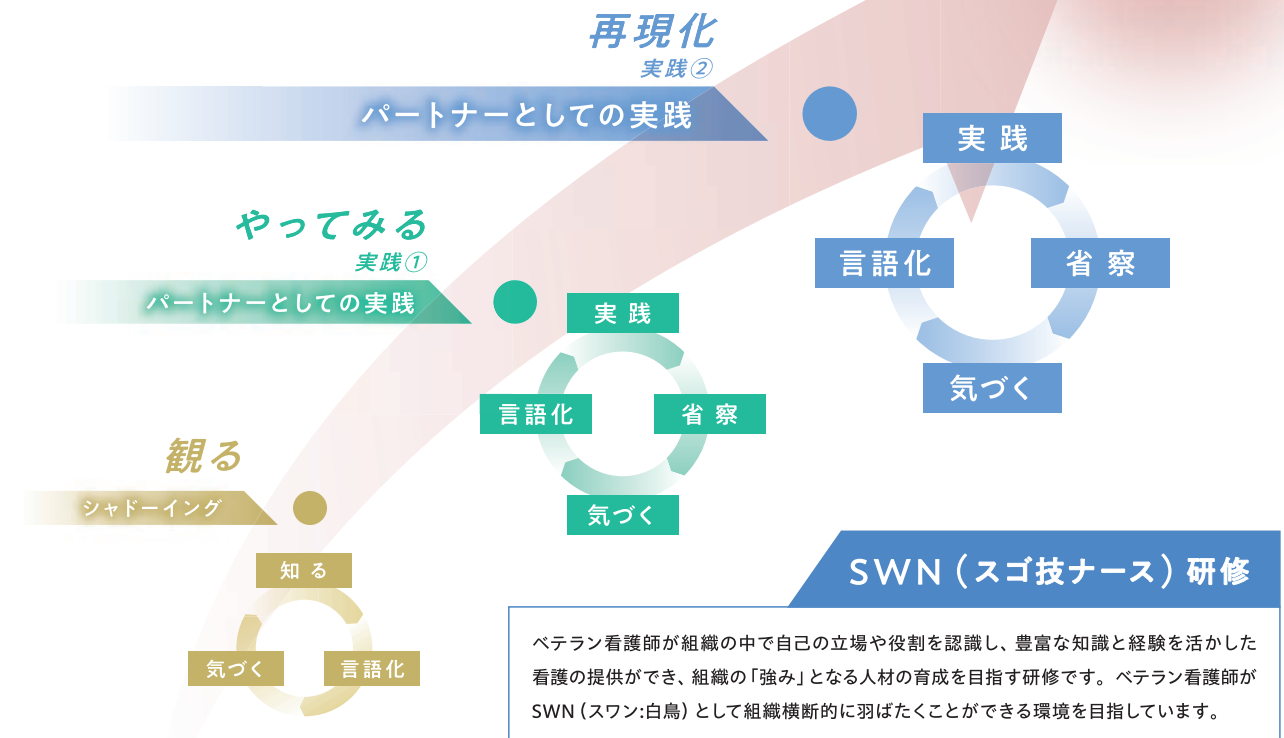
リソースナースとは日々発生する患者や家族を取り巻く問題に対し、問題解決を目指すため専門知識や技術で支援する役割の看護師のことです。医療センターでは、看護の質の向上をめざし、リソース(資源)として院内職員より活用されるため、認定看護師を中心に平成25年より活動を開始いたしました。現在は院内だけでなく、院外の地域の皆様に活用をしていただけるように幅広い活動を心がけています。

Region【地域】Relation【連携】Resource【資源】の3つをイメージし「三つ葉」のロゴマークとしました。院内だけでなく、地域と連携したリソースを目指します。

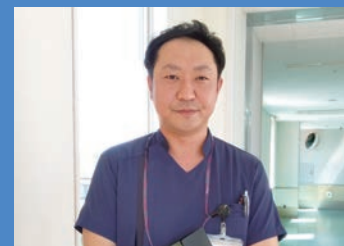


伝承♡伝授パートナー

医療センターではプリセプターシップとPNSの良さを活かした、ハイブリッド型の新人職員育成プログラム「伝承♡伝授パートナー」で新人看護師の育成を行っています



／親身なキャリアサポートで充実した日々を送っています／



老人看護専門看護師

田中 勝

老人看護専門看護師として、認知症や嚥下障害などの複雑な健康問題を持つ高齢者の生活の質を向上させるために、多職種と連携しながら、認知症等があっても「その人らしく」過ごせることを支援しています。キャリアアップは勤務する施設からの支援が重要です。当院は看護職として働くための教育や支援がとても充実しています。



DOTN

認知症患者さんへの
思いをつなぐナース

田中 陽子

私は看護部認定看護師DOTNを取得しました。目標としていることに対して自部署をはじめ看護部からのサポートもあり、学ぶ機会を沢山いただいています。認知症看護認定看護師の方の言葉で印象に残った「スタッフから見た『困った患者』ではなく、入院生活で『困っている患者』の看護」をこれから実践していきたいと思っています。



SWN

スゴ技ナース

古賀 美喜

東日本大震災をきっかけに口腔ケアに興味を持ち、スキルアップを志しました。以前は優先度が低いとされていた口腔ケアですが、高齢社会で誤嚥性肺炎に罹患する方は多く、口腔ケアの必要性が高まっています。看護の力で予防するために後輩指導を積極的に行い、患者さんのQOLを維持できるように活動していきたいと思っています。